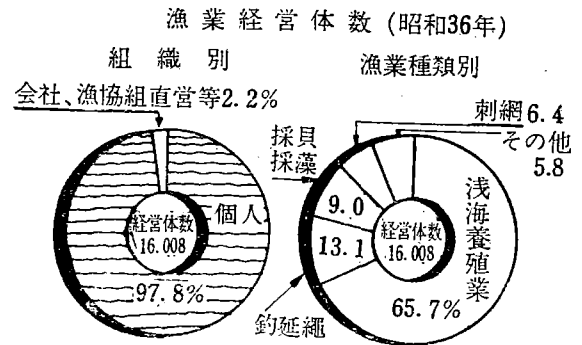


33. 海面漁業経営体

本県は三面海に囲まれ、海岸線は352キロメートルにおよんでいるので、漁業に従事する人も多い。その経営体数は昭和36年は16,008を数え全体の98%が個人経営によるもので会社、漁業協同組合等の経営する比較的規模の大きい経営体は少ない。また漁業種類別にみると、浅海養殖業が66%を占め、ついで釣、延縄漁業、採貝採藻、刺網漁業の順となっている。

なお、浅海養殖業ののり養殖、貝類は近時その地域が工場敷地に埋立られているので減少することはまぬがれない状態にある。



年	経営体 総数	組織別経営体数					
		個人	会社	漁業協同 組合直営	漁業生産 組合	共同経営	官公庁学 校試験場
昭和 29 年1)	15 356	14 872	51	428			5
33 2)	16 310	15 972	122	18	9	186	3
35 3)	16 589	16 242	121	21	12	190	3
36 4)	16 008	15 653	122	25	11	194	3

年	漁船漁業経営体数			漁業種類別経営体数			
	漁船漁業		非漁船 漁業	捕鯨業	底びき網	まき網	敷網
	無動力	動力					
昭和 29 年	3 262	3 020	9 074
33	2 789	3 699	9 822	2	587	131	138
35	2 393	3 390	10 806	2	465	132	136
36	2 029	3 379	10 600	2	424	129	87

年	漁業種類別経営体数						
	刺網	釣延縄	大型小型 定置網	地びき 船びき網	採貝採 藻	その他の 漁業	浅海 養殖
昭和 29 年	38	8 870
33	950	2 394	40	133	2 257	...	9 678
35	1 045	2 111	26	68	1 606	286	10 712
36	1 022	2 092	29	57	1 441	212	10 513

統計課 農林省千葉統計調査事務所調 1) 1月1日現在第2次漁業センサス. 2) 11月1日現在沿岸漁業センサス. 3) 4) 1月1日現在漁業動態調査.